※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０３

令和５年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「　美術２　」　（光村出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・計画的に制作し完成度の高い作品制作をめざそう
・素材や、技法を工夫し様々な表現をしよう
・１年次に学んだ技術を生かし、より完成度の高い作品をめざそう

２　学習の到達目標

・意図に応じて材料や用具の特性を理解し、生かしている。
・主題に応じて多くの視点から発想し、独自の表現を探っている。工夫を重ね計画的に制作している。
・主体的に作品制作や鑑賞に取り組み、幅広い視点を身につけようとしている。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	鑑賞	教科書等を鑑賞し多様な表現について学び、美術Ⅱの学習イメージを持つ。 レポート記入後、鑑賞内容を発表する。	a:美術作品への理解を深めている b 美術作品や文化に対する感じ方を深めている c:美術の表現に関心を持ち意欲を高めている	レポート・発表内容	レポート・発表内容	鑑賞・発表態度

※令和４年度以降入学生用

	シャドーオブジェ	【立体】 ・シルエットの面白い動物を選び、アイデアスケッチする ・シルエットに合わせて、箱の中で光を当てながら透明素材を組み合わせ、動物の影の形を作る。 ・透明素材の立体と影の形とのギャップを意識しながら制作する。 ・制作レポート・鑑賞レポートを丁寧に書く。	a:学習内容に関心を持ち、手順や材料の使用方法を理解している。光りと影の関係を理解し立体を制作している。 b:材料の特性を生かし、表現方法を工夫している。 c:動物の特徴を表現することに関心を持ち、手順や素材の扱いかたを工夫しながら意欲的に取り組んでいる 完成作品を客観的に見て丁寧な文章で表現できている。	制作方法 完成作品 用具や素材の適切な使用	アイデアスケッチ、制作中の試行や工夫、レポート内容	制作態度 準備、片付け レポート内容
	高校展レポート	【鑑賞】 高校展または他の展覧会等を鑑賞しレポートを丁寧に書く。	a:作品や技法に理解を深めている。 b:作品や作者の意図や工夫に感じ方を深めている。 c:作品や作者に関心を持ち意欲を高めている。	レポート内容	レポート内容	レポート内容
2学期	スクラッチ絵画	【絵画】 アルファベットストーリーから描く〈シュールな世界〉制作 ・自分のイニシャルから発想し、架空の物語を創作する。 ・超現実的な場面を組み合わせて作画する。 ・実物のスケッチや図鑑等の資料から画面構成する。 ・スクラッチボードに、黒から白に至るトーンをニードルによるタッチで表現する。 ・写実的に描写する。イニシャルを画面のどこかに組み入れる。 ・制作レポート、鑑賞レポートを丁寧に書く。	a: 学習内容に関心を持ち、手順や材料の使用方法を理解している。ニードルの扱い方を学んでいる b:シュールな世界を理解し、ストーリーの場面から組み合わせて表現し、画面構成を練っている。 リアルに表現しようと工夫がみられる。 ニードルの扱いを工夫し様々なタッチや質感の違いを表現している c:表現方法を工夫し意欲的に取り組んでいる 完成作品を客観的に見て丁寧な文章で表現できている	制作方法 完成作品 用具や素材の適切な使用	アイデアスケッチ、制作中の試行や工夫、レポート内容	制作態度 準備、片付け レポート内容

※令和４年度以降入学生用

	油画・静物画	【絵画】 ・素材や形の違うモチーフ４～５点を組み、見る方向を変えてスケッチする。 ・８号のボードに油絵具（黒以外）を混色し、ペインティングナイフだけで描写する。 ・明暗、立体感、材質感、空間を表現する。 ・制作レポート、鑑賞レポートを丁寧に書く。	a: 学習内容に関心を持ち、手順や油絵の具、ナイフの使用方法を理解している。 b:絵の具の特性を生かし、表現方法、混色に工夫が見られる。 明暗や立体感を理解し色に置き換えることができる。 c:モチーフの特徴を表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組んでいる。 完成作品を客観的に見て丁寧な文章で表現できている。	制作方法 完成作品 用具や素材の適切な使用	アイデアスケッチ、 制作中の試行や工夫、レポート内容	制作態度 準備、片付け レポート内容
3学期	校内展レポート	・校内展を鑑賞し、レポートを丁寧に書く。	a:作品や技法に理解を深めている。 b:作品や作者の意図や工夫に感じ方を深めている。 c:作品や作者に関心を持ち意欲を高めている。	レポート内容	レポート内容	レポート内容

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度